



むらまつせいらん

24

村松晴嵐

- 所在地／那珂郡東海村村松 146-19 ほか
- 規模／幅 0.6km、長さ 2.8km、面積 170ha、樹齢 30～300 年
- 指定／飛砂防備保安林、茨城県村松自然環境保全地区
- 問合せ／東海村経済課商工観光係 電話 029-282-1711

茨城県



立地環境

東海村の海岸線の砂浜にある松林で、太平洋に面し、ほとんどが日本原子力研究開発機構の敷地です。

松原の 今昔物語

徳川齊昭公が愛した白砂青松 「村松晴嵐」

海岸線の砂浜に接続するクロマツ林は、河田杰博士により、大正8年から造成された海岸砂防林で、わが国の海岸砂防技術の基礎となった場所です。村松山虚空蔵堂の周辺と村松海岸は、白砂と青松のコントラストが美しく、水戸藩の第9代藩主徳川齊昭公によって水戸八景の1つ、「村松晴嵐」として選ばれています。

COLUMN

周辺には日本三体の1つ村松山虚空蔵堂があり、徳川齊昭公直筆の村松晴嵐の碑もあります。また、最先端の科学が集約された大強度陽子加速器施設もあります。

ACCESS

- 電車やバスの場合
JR常磐線東海駅下車、茨城交通バスで10分「虚空蔵尊前」下車、徒歩15分
- 車の場合
国道245号線沿いの村宮駐車場より徒歩15分

